

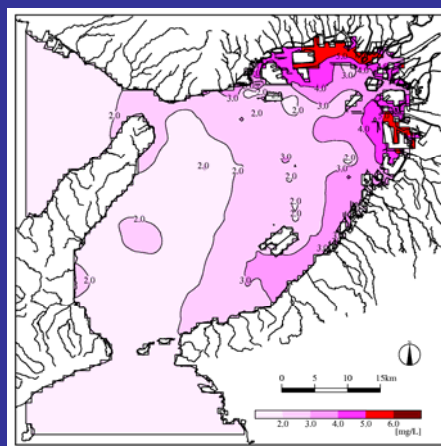
平成20年度 主な取り組み内容

- ①水質予測モデルを用いた施策の効果の検討
- ②水質の目標達成のために必要な対策の検討
- ③目標に応じた効果の把握に適したアウトカム指標の設定
- ④親水性向上に向けたエリア毎の親水空間等の整備方針の策定(パブリックアクセスの向上等)
- ⑤大阪湾再生の広報の強化

①水質予測モデルを用いた施策の効果の検討

→水質予測モデルを用いて、陸域負荷削減施策、海域環境改善施策等の実施に伴う大阪湾の水質改善効果を明確にする。

水質予測結果
(COD:将来)



【行動計画の目標】

[mg/L]

6

5 ← 散策、展望

4

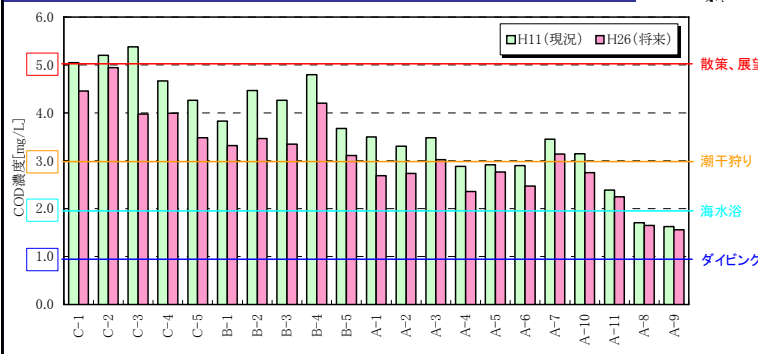
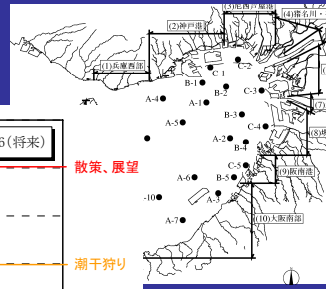
3 ← 潮干狩り

2 ← 海水浴

1 ← ダイビング

②水質の目標達成のために必要な対策の検討

→①の水質予測結果をもとに、アピールポイント毎の水質の目標の達成状況を把握するとともに、目標達成のために必要となるさらなる取り組みについて検討を行う。



散策、展望
潮干狩り
海水浴
ダイビング

環境基準点における水質と目標値の比較(COD)

③目標に応じた効果の把握に適したアウトカム指標の設定

→行動計画の目標達成に係る分かりやすい効果指標(アウトカム指標)として、生物等を含めた指標を検討する。

大阪湾一斉調査(生物調査) 調査シート		生物調査記録	調査結果
<p>調査の概要</p> <p>①調査の目的</p> <p>②調査の範囲</p> <p>③調査の方法</p> <p>④調査の結果</p>		<p>調査日時</p> <p>調査時間</p> <p>調査地点</p> <p>調査者</p>	<p>調査結果</p> <p>観察された生物</p>
<p>調査の目的</p> <p>①調査の目的</p> <p>②調査の範囲</p> <p>③調査の方法</p> <p>④調査の結果</p>	<p>調査結果</p> <p>観察された生物</p> <p>観察された生物</p>	<p>調査結果</p> <p>観察された生物</p> <p>観察された生物</p>	<p>調査結果</p> <p>観察された生物</p> <p>観察された生物</p>



タイワンガザミ



大阪湾(生き物)一斉調査

④親水性向上に向けたエリア毎の親水空間等の整備方針の策定

→臨海部の企業等との連携・協働によるパブリックアクセスの向上へ向けた検討等を実施する。

整備例



東播磨港荒井地区緑地



整備前



整備後

⑤大阪湾再生の広報の強化

→大阪湾再生のホームページを各機関による施策や事業の目的・整備内容等が一覧できるよう充実を図る。

ホームページの例



- 大阪湾再生推進会議について
- 大阪湾再生行動計画
- 第5回大阪湾再生推進会議
- 大阪湾環境データベース
- 「大阪湾再生」水質一斉調査
～平成19年度調査結果(速報)アップ～
- 大阪湾再生ニュース「ほちほちいこか」[new]
- 大阪湾再生に向けた市民参画による取り組み
- 大阪湾再生技術情報
- 大阪湾再生シンポジウム参加申し込みについて(12/7締切)
- 「大阪湾再生行動計画 中間評価(案)」に対する意見募集のご案内について(1/18(金)締切)

大阪湾環境データベース